



ぐらぶあ

Vol.112

2015年12月号

ふみだそう、福祉でまちづくり

私たちがお伺いします!! 何でもご相談ください!!

地域生活支援系の看板娘です

《東部保健福祉サービスセンター》

担当地区: 豊平、玉川、泉野
(湯田坂・浦田)
電話: 82-1521



「ちょっと来ておくれ」そんな声に、
明るく、元気に訪問します。

《西部保健福祉サービスセンター》

担当地区: 宮川、金沢
(今井・武澤)
電話: 82-1328



お困りごとなどありましたら、
お気軽にお電話ください。

《中部保健福祉サービスセンター》

担当地区: ちの、米沢、中大塩
(横内・田中)
電話: 82-0360



笑顔で対応!!
いつでもお声掛けしてください。

《北部保健福祉サービスセンター》

担当地区: 湖東、北山
(伊藤・百瀬)
電話: 77-3172



地域の方が笑顔になれるように頑張ります!
お気軽にお声掛けください。

私たちの活動は次項に書かれています。開いて見てね。

こんにちは!! 地域生活支援係です

現在、茅野市では地区や行政区など、より身近なところで柔軟な対応をしていくために、市内4つの保健福祉サービスセンター(中部・西部・東部・北部)に、地域生活支援係の社協職員がいます。

私たちは、相談窓口に来てくださる方の対応はもちろん、地域の中に出向き相談を受けたりお話を伺ったりします。不安や悩みを抱える方の状況や地域の様子を知ること、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して活動しています。

今回は、その活動内容についてご紹介します!!

1. 朝一番、電話が鳴る…Gさんからの電話

Gさんは、頻りに電話をしてくる方で、いつも30分以上話をされます。この日は「体調が悪く入浴ができない」と相談を受けました。保健師に相談し、その日の午後、同行訪問することにしました。



私たちは、本当の困りごとはどんなこと?生活の陰に隠れているニーズへの“気づき”を大切にしています。

2. 民生児童委員と一緒にHさんのお宅を訪問

市の消費生活センターより、Hさんが訪問販売の被害にあったようなので様子を確認してほしいと連絡が入りました。Hさんをよく知る民生児童委員と一緒に、お宅へ伺い、様子を確認しました。

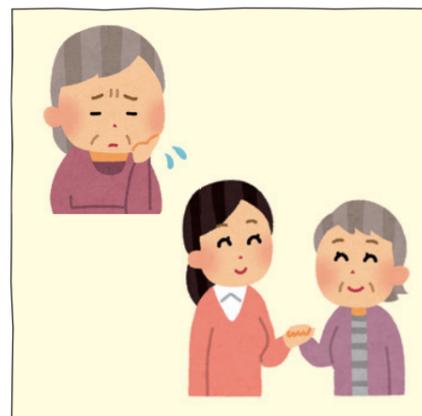


私たちは、あらゆる関係者と「何か変だな?」と感じたら、お互いに相談できるような連携や関係づくりを大切にしています。

3. ある日、石垣に一人で座っているOさんに出会う

Oさんに話しかけると「今から家に来れるかい」と話します。Oさんは、ひとり暮らし高齢者。「ひとり暮らしが寂しい、誰も訪ねてこない、どうしていいかわからない」と言ったまま黙り込んでしまいました。Oさんのお宅へ伺い、日ごろの悩みや不安について話を聞きました。

私たちは、「ちょっと来ておくれ」と気軽に声を掛けてもらえる信頼関係を大切にしています。



4. 地域のいきいきサロンに参加

C区公民館で開催されるいきいきサロンに出席。警察署から聞いた特殊詐欺の話題をお話しました。またC区から要望をいただいていた体操も行い、参加者のみなさんと楽しく交流しました。お茶の時間にボランティアの方より近所に住む高齢者について相談がありました。



私たちは、地域のみなさんが行うさまざまな活動へ参加して、“ことば”を交わし、ふれあうことから生まれる繋がりや信頼関係を大切にしています。

5. サロンの帰り道…ちょっと気になっているIさん夫妻のお宅を訪問

高齢者世帯のIさん夫妻を保健師と訪問。野良猫の赤ちゃんが生まれたと言って、ご主人は嬉しそうにしていました。認知症の奥さんの様子を伺いながらお話をしました。ご夫妻だけの生活は大変そうですが、お二人で寄り添い合って暮らしていっていらっしゃいました。



困りごとは人それぞれ違います。私たちは相手の思いに寄り添い、どんな支援ができるのか、さまざまな角度から考えることを大切にしています。

6. 地域活動をしている方からの悩み…地区社協の役員さんのつぶやき

A地区社協の役員さんが、あいさつ運動の準備に来所され、「自分たちも歳を取って大変なんだよ。若い人たちをもっと活動に巻き込めないものかな…」とつぶやかれました。

私は「きっと他の地区でも同じ思いをされているかと思えますので、どうされているか聞いてみます。みなさんと一緒に考える機会を作りませんか。」とお答えしました。



私たちは、地域で活動しているみなさんの悩みや思いを知り、共有し、一緒に考えていくことを大切にしています。

社協の紺色のジャンパーを見かけたら、お気軽にお声掛けください。

社協会費にご協力いただきありがとうございました。

総額 9,815,172円

件数 8,900件

(9月30日現在)

(内訳) 普通会費 8,154,172円 (8,293件) 賛助会費 770,000円 (385件)
特別会費 891,000円 (222件)

みなさんからご協力をいただいた社協会費は、地域福祉の推進や、さまざまな事業を展開するための貴重な財源となります。社協会費は、年会費でお願いしておりますので、まだご協力いただけていないみなさんには、ぜひご協力をお願いいたします。

納入先: 各地区コミュニティセンターまたは、茅野市社会福祉協議会までお願いします。ご連絡をいただければ、お伺いいたします。



ほっとできたね...

家庭介護者いこいの集い



9月29日秋晴れの中、家庭で介護をされているみなさんが、駒ヶ根市の景色とおいしい食事を満喫されました。

参加された方からは、「普段は家族以外とは話をしないので、たくさんおしゃべりができて嬉しかった」「また、今日から母ちゃんの介護を頑張るわ」といった感想をいただきました。

「家庭介護者いこいの集い」は、食事や温泉入浴、レクリエーションなどを通じて相互の情報交換や仲間作りをいただいています。

次回は、平成28年2月ごろ開催の予定です。

詳しくは、次号でお知らせします。

また、宮川地区社会福祉協議会が主体となつて昨年一月から運行している交通弱者のお買物無料送迎バス「すまいるバス」。今回、運行に賛同した地域の企業、商店等十社がスポンサーとなりオリジナル広告シートを車体に貼つて「新すまいるバス」として発車。

事業継続に地域が一体となつての取り組み。

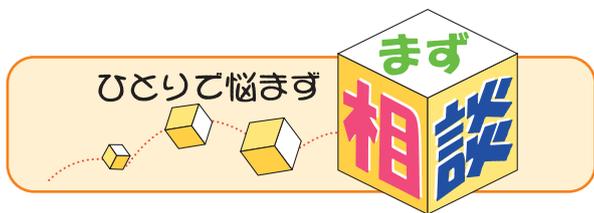
誰もが住み慣れた地域で安心して「心豊かに暮らす」ことを願っております。

宮川地区の取り組みは、まさに自分たちの地域は自分たちで支え合うお互いさまの活動ではないでしょうか。

この運動会は、住みなれた地域で安心して生活できる支え合いの仕組みや防災時に備えての体験学習をする機会となりました。参加者は手作りのませ〜飯、豚汁に舌つづみを打ちながら楽しい様子でした。

宮川地区社会福祉協議会、宮川地区コミュニティ運営協議会が主体となり、地域でのお互いさまの支え合い活動を形にした「宮川地区第一回福祉運動会」が十月四日に開催。防災や福祉をテーマにしたクイズ、手話によるゲーム、車椅子を使って安全に注意しながら風船を運ぶレースなど五種目と地元消防団による救護操法も行われた。子どもから大人、高齢者、障がい者や介助する人も参加。





人生には様々な悩みがあります。誰にも相談できない、どこに相談したらよいかわからない。そんなときは、まず社協にお電話ください。

平成27年4月13日より、相談会場は市役所議会議棟1階 社協事務局に移りました

心配ごと相談

どんなことでもご相談ください。
 (第3金曜日は年金相談もできます。)
 毎週金曜日 午前9時～正午
 相談員：心配ごと相談員
 心の悩み相談には、事前の予約が必要です。
 (精神保健福祉士が対応)
 会場：市役所議会議棟1階(社会福祉協議会相談室)

結婚相談

結婚を望まれる方の相談窓口
 毎月第1・3土曜日
 午後1時～午後4時
 毎月第2・4金曜日
 午後6時30分～午後8時30分
 相談員：結婚相談員
 会場：市役所議会議棟1階和室

司法書士の法律相談(予約制)

身近な法律に関する相談
 毎月第2水曜日 午後3時～午後5時
 相談員：司法書士 予約電話/73-4431
 会場：市役所議会議棟1階(社会福祉協議会相談室)

福祉やボランティアの相談

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時30分
 電話/73-4431 FAX/73-8030

社協情報紙 **やらがま** Vol.112
 2015年12月号
 発行/社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会
 編集/やらがま編集委員会
 〒391-8501 茅野市塚原2-6-1
 TEL (0266)73-4431
 FAX (0266)73-8030
 URL: <http://sharara.or.jp>
 E-mail: support@sharara.or.jp

社協情報紙 **やらがま** の発行にはみなさんの会費と共同募金が使われています。

読者の声

- ・赤い羽根共同募金の一部が市内のボランティアに助成されそれが役立っている。小さい募金も大きくなって社会に繋がっているのですね。一人の力も大きく繋がり明るい社会が作られて行くのだと思います。まさに「おたがいさま」が茅野市の福祉を発展させてよりよい(住み良い)町を作ると思います。
(湖東 70代 女性)
- ・いつも「広報ちの」に入っている「やらがま」を拝見しています。特にこのクイズは、ためになることもあり、知識が増えて楽しいです。様々な活動も見て読んで知ることができ、こんなにも頼れる存在が茅野市にはありとても嬉しく思っています。
(玉川 20代 女性)
- ・いつも金田和尚のつぶやきを楽しみにしています。
(玉川 90代 男性)
- ・いろいろ役立つことがたくさんあっていいじゃないですか。
(ちの 40代 女性)
- ・赤い羽根共同募金に協力したい。昨年茅野に住んでいますが、協力したことがないので。
(群馬県 20代 女性)
- ・社協とは?よく理解していないので、パンフレットなど見て理解していきたいと思っています。
(玉川 30代 女性)
- ・私の住む茨城県は台風18号による大雨で多大な被害を受けました。1ヶ月経ちましたが、まだ家に帰れない人が沢山います。しかしながら徐々に水が引き、電気、水道が復旧し始めたところがあります。これは長野県をはじめ他県の皆さまのご支援のおかげであり、心から厚く御礼申し上げます。どうか今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。
(茨城県 男性)

今回のクイズ

何人?



茅野市内4つの保健福祉サービスセンター(中部、西部、東部、北部)にいる地域生活支援係の職員は全員で何人でしょう?

応募要領
 クイズの答え、住所、氏名、年齢(年代)、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらがまの感想、つぶやきなど一言添えて社協までお送り下さい。ハガキや封書の他、ホームページのお問い合わせフォームからも応募できます。正解者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

応募締め切り
 12月15日(火)

前回のクイズの答え
 ②シルバーウィーク

当選者
 宮坂明梨さん(玉川) 竹内育代さん(玉川)
 小林克雄さん(茨城県)
 当選された方には図書カードをお送りいたします。

たくさんのご応募ありがとうございました。

